nonowa東小金井 開業

駅周辺の高架下に20店舗

パリの学生街をイメージした「nonowa東小金井」

JR東小金井駅（小金井市）を中心とする高架下に27日、商業施設「nonowa（ノノワ）東小金井」がオープンした。中央線・三鷹―立川駅間の高架化事業によって生まれたスペースを利用しており、周辺に学校が多いことから、パリの学生街「カルチェラタン」をイメージした造りにしたのが特徴だ。

店舗面積は計約2400平方㍍で、武蔵野・多摩地区初進出となるベルギー発のベーカリーレストラン「ル・パン・コティディアン」をはじめ、雑貨や飲食店、スーパーなど20店が並ぶ。各店には大通りに面した店を思わせる扉を付けたほか、看板の様式を統一。街灯も設け、オシャレな雰囲気を演出した。

日中は駅周辺の観光案内ノノワに直結するICカード乗車券専用の改札口（午前7時～午後10時）も設置した。

施設はJR東日本の子会社・JR中央ラインモールが運営。同社などは、地元自治体などと連携しながら、高架化で生まれた延長計約9キロ、約7万平方㍍のスペースの開発を進めており、同様の施設は武蔵境駅に続いて2か所目となる。今後、武蔵小金井、国立駅周辺でも整備を進める。

このほか、東小金井駅の東約300㍍の高架下では小金井市が4月、起業家の育成などを目的とした貸事務所を開設する。約5平方㍍の個室や約2平方㍍の共有ブースなどがある。入居の問い合わせは市産業振興

「新選組文化」多彩な展開

日野で企画展　人気支える　楽しい創作物

新選組を扱ったマンガや、NHK大河ドラマの小道具などが並ぶ会場

新選組がマンガやアニメの題材として親しまれてきた歴史をたどる企画展「描かれた『新選組』」が、日野市立新選組のふるさと歴史館で開かれている。息の長い〝新選組文化〟の展開過程と、人気の理由を探っている。

火付け役は司馬作品■女性ファン多く

「ひの新選組まつり」では、新選組隊士にふんしたパレード参加者たちが女性ファンの注目を浴びる（2012年5月、日野市で）

会場には、子母沢寛（しもざわかん）の小説「新選組始末記」（1928年）や戦前の映画台本を始め、約200点が年代順に並び、描かれ方の変化を追っている。昭和40年代以降はマンガやアニメを中心に構成されており、新選組が恋愛やSFなど多彩なジャンルで扱われ、人気の素材だったことが一目瞭然だ。

新選組と言えば、昭和30年代までは近藤勇だった。現在二枚目の代名詞である沖田総司は、かつては映画で40歳代の俳優が演じることもあった。手塚治虫の「新選組」（1963年）でも同様で、沖田より近藤の方が美男子に描かれている。

新選組のイメージを決定付けたのが、司馬遼太郎の小説「燃えよ剣」と「新選組血風録」（ともに1964年）。非情な土方歳三、美男子の沖田、謎の多い斎藤一――。現在、一般に受け入れられているキャラクター設定は、司馬の創作だ。

司馬作品の大ヒット以後、そうした設定はマンガやアニメでも踏襲されており、その上に、架空の女性隊士と実在の隊士とが恋に落ちたり、史実では途中で死ぬはずの隊士が、最後の戦場である箱館（函館）まで一緒に戦ったりという多彩な物語が生み出されてきた。

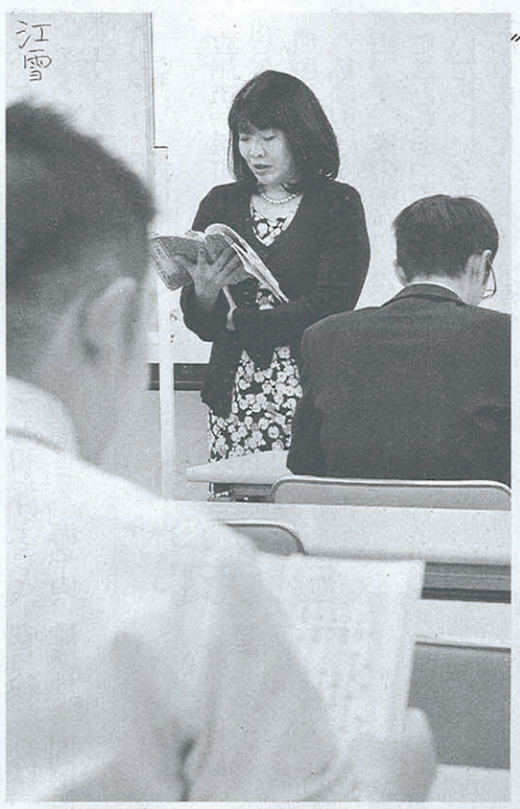
新選組が題材として親しまれる要因を、同館の松下尚学芸員は、①司馬が完成させたキャラクター像が広く共有されていて応用しやすい②新選組が持つ歴史への影響が小さく研究が十分でないため、創作の余地が大きい③隊での縦の序列と横のつながりが現代的な感覚で理解しやすい――などと分析する。

こうした創作物の影響か、新選組ファンには女性が多い。同館が昨年5月、「ひの新選組まつり」開催時の来館者を調査すると、7割以上が女性で、中心は10～30歳代だった。松下学芸員は「歴史の知識がなくても楽しみやすい多彩な創作物が、息の長い新選組人気を支えている」と話す。

3月9日まで。入館料一般200円。問い合わせは、同館（042・583・5100）へ。

「論語教室」身近に定着

＊国立



講師の安岡さんに続き、声に出してテキストを読む参加者たち

「論語教室」が国立市東の大石会計事務所で毎月2回、地域住民を交えて開かれている。4月で開始から3年を迎え、身近な教室として定着してきた。

講座は、講師の安岡定子さんに続いて、全員がかな交じりのテキストを音読した後、安岡さんが文章の意味や、登場人物の人柄などの関連知識を解説するというオーソドックスな形だ。季節に合わせた漢詩を紹介することもある。

事務所の職員や地域住民ら約20人が参加。同市の牛腸資子さん(77)は「思いやりという意味の『仁』のように、日常生活で『その通りだな』と思える言葉が多い。実践は難しいけれど」と笑う。

安岡さんの講座を受講していた事務所代表の大石豊司さん(54)が、「なじみ深い割に意識することの少ない論語を知る場を増やしたい」と、地元での開催を打診して始まった。安岡さんは漢学者安岡正篤の孫で、全国で20余りの講座を開いており、ここ3、4年で問い合わせが急増しているという。「日本人の考え方の底流にあった論語が、心のよりどころとして見直されている」と、安岡さんはみる。

毎月第1、第3月曜の午後6時半から。受講料一般1500円（1回）。問い合わせは、同事務所（042・574・3900）へ。

＊「私の1冊」休みました。

あすの暦

1月29日（水曜日）
通日　29
旧12月29日
＜仏滅＞
月齢　27.7
（正午）

天気

きょう	八王子	府中	青梅	小河内
午前	☀	☀	☀	☀
午後	☀	☀	☀	☀
夜	☆	☆	☆	☆
降水確率	10	10	10	10
予想気温 最高	13	14	13	11
予想気温 最低	-3	-2	-3	-2
29（水）	☁ 9 / 1 / 20	☁ 9 / 1 / 20	☁ 9 / 0 / 20	☁ 7 / -1 / 20
30（木）	☁ 11 / 0 / 40	☁ 10 / 1 / 40	☁ 9 / 0 / 40	☁ 9 / 1 / 40

多摩東部　南の風　晴時々曇
多摩西部　南の風（あす）晴時々曇
南の風（あす）晴時々曇

枝肉　27日（単位円）

【東京・芝浦】（骨付き、キロ）

		高値	安値	平均
豚	極上	442	421	429
	上	468	378	419
	中	495	315	397
	並	415	294	363
	等外	373	147	315

等級	②	③	④
和牛メスA	1468	1665	1922
和牛去勢A	1431	1642	1789
和牛メスB	—	1449	1724
和牛去勢B	—	1595	—
交雑種メスB	965	1074	1259
交雑種去勢B	1010	1164	1260

【さいたま】もちあい